



千代田区議会議員 身近な区民の代弁者として、皆様に千代田区政の動きをお知らせしていきます。

池田とものりの区政レポート

第5号
平成29年1月

To Next Generation! **千代田の未来へ世代をつなぐ!!**

平成28年第4回区議会定例会にて一般質問を行いました!

公衆トイレの整備について

これまでの30箇所から有料トイレを含む20箇所に適正配置がされた区内の公衆トイレは、案内表示、清掃時間等を見直し清潔で快適な空間の維持管理について改善が必要ではないか。障がいのある方の立場からも整備をするべきではないか?

【池田】 今年度、新規事業として「民間トイレの実態調査」を行い、その結果を踏まえ、民間トイレの一般開放などオリンピック・パラリンピック開催時のトイレ対応について検討していく予定であると聞いています。また、区内の公衆トイレの整備に必要な調査でもあると認識しています。先のリオ五輪では史上最多の205か国が参加し、文化や生活習慣の違う人々が世界中から集まり、基本的な「トイレの使い方」にも大きな差異が生じることもあったと推測されます。現状においては、**千代田区内の公衆トイレの整備は必ずしも良好に進んでいるとは言えない**状況の中で、トイレ事情は違うものの日本での正しいトイレの使い方を記す表示も検討されるのではないのでしょうか。公衆トイレで、一日のうち殆どの箇所が午前中と昼頃との二回、清掃が行われています。場所にもよりますが、夜間の利用が多いところは時間帯を考慮して清掃出来ないものではないでしょうか。これでは、清潔で快適な空間とはとても言いがたいです。**衛生面やバリアなど使いづらさには複合的な要因があるか**と思います。また、障がいをお持ちの方の意見もしっかりと反映することが必要だと考えます。障がい者団体や区内のバリアフリーマップを作成している団体から、意見をお聞きしながら整備を進めることが必要だと考えますがいかがでしょうか。また外国人へのサインの整備はいかがでしょうか。



＜答弁＞ 公衆トイレはまちの文化度を示すという思いもあります。精力的に公衆トイレのユニバーサル化を含め、外国人を含めた来訪者が円滑にトイレを利用できるような案内方法、高齢者や障がい者の方にも使いやすい設備への改善などについて、関係団体の方のご意見を伺いながら、公衆トイレのリフレッシュ等、具体的検討を行うとともに、清掃方法等の改善も図ってまいります。

東京マラソンの新たな公衆トイレも必要では?

【池田】 毎年2月に実施されている東京マラソンは、来年は一部コースが変更されゴールが東京駅前になります。民間トイレの調査を踏まえ、コース周辺において、トイレの空白地帯に新たな公衆トイレを整備することが必要なのではないでしょうか。



【答弁】 東京都からは開催時における仮設トイレ等の敷地提供について要望を受けており、区としても前向きに協力をしています。コース沿道への公衆トイレの設置については、仮設トイレの利用状況、沿道の既存施設等のトイレの有効性を検証し、公衆トイレに見合う機能の確保について検討していきます。

神保町駅地上部の公衆トイレ整備を提案したい

【池田】 神保町駅においては、バリアフリー対策のため、専大前交差点近くの空き地にエレベーターが設置される予定ですが、降りた先の構内近くには、トイレが設置されておりません。そこで、エレベーターの整備に併せて、地上部に区が公衆トイレを整備することを提案いたします。

【答弁】 当該敷地を所有する東京都交通局では、敷地の利用状況に鑑み、地上部にトイレを整備することは困難との見解です。区では、駅構内のトイレを誰もが利用しやすい環境となるよう、東京都に対して要望していきます。

まちのバリアフリー対策について

【池田】 神保町古書店街には多くの方が訪れ、世界に誇る千代田の大きな魅力となっています。多くの方が東京メトロ、都営地下鉄を利用して来街されますが、神保町交差点付近には、エレベーターが整備されていないのです。世界に誇る本のまちであるからこそ、バリアフリーに関しても、来街者にやさしいまちづくりの観点から世界に誇れるような整備が必要ではないのでしょうか。

【答弁】 区内の鉄道事業者と連携を図りながら、更なる利便性の向上を目指して既存の民間の建物の更新、周辺の再開発の機会を捉えて、エレベーターまたはエスカレーターを設置を強いお願いと誘導をしています。今後 も継続的に働きかけていきたい。

これからも安心して暮らしていける千代田を目指して

区政報告 その①

委員会報告 (子育て文教委員会)

子どもの遊び場を確保するため、かねてより整備していた旧永田町小学校の校庭を利用し、毎週日曜日午後2時から午後4時まで開放されています。ボール投げやサッカーなどが出来ない公園が多い中、低未利用地を活用して子どもが自由にボール遊びの出来る遊び場として新たに加わりました。当面暫定利用ですが、曜日や時間帯も異なりますが、これにより区立小学校八校の学区内にそれぞれ子どもの遊び場が整備されました。今後も校庭開放利用を含め、子どもたちの遊び場の整備事業を見守っていきます。



永田町小学校校庭

区政報告 その②

委員会決議報告 (子育て文教委員会)

今定例会で、委員会決議として、「軽井沢少年自然の家」を引き続き活用していくことを求める決議が議決されました。60年以上の歴史を有する軽井沢少年自然の家は、当時の区議会議員全員の寄付による財源を動機として林間学校の施設として活用されてきました。しかしながら、現在は施設の老朽化や児童・生徒の校外学習をとりまく社会状況などにより、使用されていない状態です。行政視察の結果、大規模改修、改築によって十分対応できることを確認してきました。区民にとって貴重な財産であることを再認識した上で、安易に売却することなく存続させ次世代に引き継ぐよう、将来の使用方法を含め、活用策を求めてまいります。



区政報告 その③

特別委員会報告 (議会のあり方に関する 調査特別委員会)

第3回定例会より、本会議場の大型スクリーンを活用した質問を実施しています。私も第4回区議会定例会において、一般質問を行った際に活用いたしました。画像を見せることによって、これまでよりさらにわかりやすく皆様に伝えられることと思います。インターネット中継で



▲本会議場大型スクリーン

ライブ映像でもご覧になれますが、ぜひ傍聴にもいらしてください。

区政報告 その④

自民党議員団 視察報告 (鹿児島県南九州市・熊本県)

今年度より千代田区平和使節団の訪問先に組み込まれた「知覧特攻平和館」を沖縄使節団と同じ足取りで調査、検証を行いました。使節団同様に語り部の話を聞いた際、亡くなった特攻隊の中に千代田区に本籍のある隊員がいたことに驚きました。また、昨年度7の巨大地震が2度発生した熊本県へ、特に被害の



議員団とともに



▲熊本城内

大きい熊本城、阿蘇大橋、益城町避難所を視察いたしました。熊本城の復旧計画や避難所の進化等、首都直下型地震が発生した際の千代田区にも参考となる貴重な話を聞くことができました。

<池田とものり PROFILE>

「子育て文教委員会(常任委員会)」「公共施設整備特別委員会」「議会のあり方に関する調査特別委員会」「区議会だより編集委員会」

- ★昭和44年10月28日、麴町で生まれる ★昭和51年 麴町保育園卒園 ★昭和57年 麴町小学校卒業
- ★昭和60年 麴町中学校卒業 ★昭和63年 日本大学第二高等学校卒業 ★平成4年 日本大学商学部会計学科卒業
- ★平成6年「フルーツエリア鶴」に就職、祖父鶴三、父清の後を継ぎ、三代目つるさんに。現在、有限会社 八百鶴商店 取締役
- ★平成20年度・21年度 麴町小学校PTA会長 ★平成15年～平成26年 千代田区スポーツ推進委員
- ★平成25年～共立女子学園後援会副会長 ★平成26年 千代田区ドッチビー協会を設立、初代会長

<趣味>けん玉(初段)・ボウリング・ドッチビー(審判・指導資格取得)

池田とものり事務所 〒102-0084 千代田区二番町11-1 朝日サテライト二番町406
TEL/FAX:03-3221-7892 mail:ikedatomonori.turu@gmail.com

池田とものり
公式アプリ公開中!!

